

実績報告書

届出者	住所	大阪府泉南市泉州空港南1	氏名	ロイヤルインフライトケイタリング株式会社 代表取締役社長 梅津 光浩
特定事業者の主たる業種		9食料品製造業		
該当する特定事業者の要件		レ	大阪府温暖化の防止等に関する条例施行規則第3条第1号に該当する者	
			大阪府温暖化の防止等に関する条例施行規則第3条第2号に該当する者	
			大阪府温暖化の防止等に関する条例施行規則第3条第3号イ又はロに該当する者	
事業の概要		1、航空機内食の調整・販売及び搭載 2、食品（弁当など）の販売 3、保税倉庫業		

◎ 温室効果ガスの削減目標の達成状況

(1) 計画期間					
2018年	4月	1日	～	2021年 3月 31日 (3年間)	
(2) 前年度における温室効果ガス総排出量					
区分	基準年度(2017)年度	前年度(2019)年度			
温室効果ガス総排出量	3,357 t-CO ₂	3,473 t-CO ₂			
温室効果ガス総排出量(平準化補正後)	3,728 t-CO ₂	3,898 t-CO ₂			
植林、緑化、森の保全による二酸化炭素の吸収量		0 t-CO ₂			
(3) 温室効果ガスの削減目標の達成状況					
区分		削減目標 (2020年度)	第1年度 (2018年度)	第2年度 (2019年度)	第3年度 (2020年度)
選択	レ	削減率(排出量ベース)	%	%	%
		削減率(原単位ベース)	4.7%	5.4%	%
削減率(平準化補正ベース)		4.2%	4.4%	-7.0%	%
吸収量による削減率		%	%	%	%
温室効果ガス排出量と密接な関係を持つ値	(食数)				
(温室効果ガス排出量と密接な関係を持つ値を複数設定した場合の設定方法)					

◎ 事業活動に係る温室効果ガス排出及び人工排熱の抑制並びに電気の需要の平準化対策

(1) 温室効果ガスの削減状況についての見解(計画の最終年度に目標が達成できなかった場合、その理由)

2019年度は大型洗浄機の更新や生産性向上施策等により、2019年4月～2020年1月までの期間は電気使用量と製造食数でみる原単位ベースで前年度比約10%の改善ペースで推移していた。しかし、2020年2月～3月はコロナウイルスの影響を受けて航空旅客数が激減し、製造食数が前年度比36%まで落ち込んだものの食品会社である為、冷蔵庫冷凍庫などの設備の完全停止ができず、また事務所・作業場エリアの空調も稼働し続けた為、通年で悪化という結果になった。

(2) 推進体制

大幅な業績悪化により、設備投資や更新などのハード面での省エネ対策は大変難しい状況にある為、経費削減とともに省エネ意識浸透を推進していく。①安全衛生委員会での原単位報告(省エネ意識向上と現状の把握)②冷蔵庫・冷凍庫内の物品を出来るだけまとめ、不要箇所の稼働を停止する③照明はこまめにオフ(掲示にて周知)④出入りの少ない場所の空調は冷暖房ではなく送風を活用④月ベースでエネルギーの使用量をモニタリングし、異常値が生じた場合は原因究明と対策の実施⑤エコドライブ、低燃費車の使用を推奨
--

実績報告書

届出者	住所	大阪府大阪市北区中之島5丁目3番68号	氏名	株式会社 ロイヤルホテル 代表取締役社長 藤山 秀一
特定事業者の主たる業種		75宿泊業		
該当する特定事業者の要件		レ	大阪府温暖化の防止等に関する条例施行規則第3条第1号に該当する者	
			大阪府温暖化の防止等に関する条例施行規則第3条第2号に該当する者	
			大阪府温暖化の防止等に関する条例施行規則第3条第3号イ又はロに該当する者	
事業の概要		宴会場・客室・レストラン・プール・販売店他を持ち サービス業を運転		

◎ 温室効果ガスの削減目標の達成状況

(1) 計画期間					
2018 年	4 月	1 日	～	2021 年	3 月 31 日 (3年間)

(2) 前年度における温室効果ガス総排出量

区分	基準年度(2017)年度	前年度(2019)年度
温室効果ガス総排出量	25,602 t-CO ₂	24,633 t-CO ₂
温室効果ガス総排出量(平準化補正後)	27,417 t-CO ₂	26,900 t-CO ₂
植林、緑化、森の保全による二酸化炭素の吸収量		0 t-CO ₂

(3) 温室効果ガスの削減目標の達成状況

区分		削減目標 (2020 年度)	第1年度 (2018 年度)	第2年度 (2019 年度)	第3年度 (2020 年度)
選択	レ	削減率(排出量ベース)	3.0 %	2.2 %	3.8 %
		削減率(原単位ベース)	%	%	%
削減率(平準化補正ベース)		%	2.2 %	1.9 %	%
吸収量による削減率		%	%	%	%

温室効果ガスの排出に係る原単位の設定内容(目標削減率(原単位ベース)を選択した場合のみ記入)

温室効果ガス排出量と密接な関係を持つ値	()
(温室効果ガス排出量と密接な関係を持つ値を複数設定した場合の設定方法)	

◎ 事業活動に係る温室効果ガス排出及び人工排熱の抑制並びに電気の需要の平準化対策

(1) 温室効果ガスの削減状況についての見解(計画の最終年度に目標が達成できなかった場合、その理由)

<p>照明設備の高効率化を実施しました。</p>

(2) 推進体制

<p>毎月、各部署別に動力光熱費(電気・ガス・水道の使用量)の分析表を配信し、全社的なエネルギーの合理化を推進するとともに、エネルギー管理標準を基として、地球温暖化防止に努めている。</p>

実績報告書

届出者	住所	大阪府大阪市生野区巽西1-8-1	氏名	ロート製薬株式会社 代表取締役会長兼社長 山田 邦雄
特定事業者の主たる業種		32その他の製造業		
該当する特定事業者の要件		レ	大阪府温暖化の防止等に関する条例施行規則第3条第1号に該当する者	
			大阪府温暖化の防止等に関する条例施行規則第3条第2号に該当する者	
			大阪府温暖化の防止等に関する条例施行規則第3条第3号イ又はロに該当する者	
事業の概要		医薬品・化粧品・機能性食品等の製造販売		

◎ 温室効果ガスの削減目標の達成状況

(1) 計画期間	
2018 年 4 月 1 日～	2021 年 3 月 31 日 (3年間)

(2) 前年度における温室効果ガス総排出量

区分	基準年度(2017)年度	前年度(2019)年度
温室効果ガス総排出量	3,177 t-CO ₂	2,913 t-CO ₂
温室効果ガス総排出量(平準化補正後)	3,528 t-CO ₂	3,235 t-CO ₂
植林、緑化、森の保全による二酸化炭素の吸収量		0 t-CO ₂

(3) 温室効果ガスの削減目標の達成状況

区分		削減目標 (2020 年度)	第1年度 (2018 年度)	第2年度 (2019 年度)	第3年度 (2020 年度)
選択	レ	削減率(排出量ベース)	3.1 %	4.4 %	8.4 %
		削減率(原単位ベース)	%	%	%
削減率(平準化補正ベース)		3.1 %	4.4 %	8.4 %	%
吸収量による削減率		%	%	%	%

温室効果ガスの排出に係る原単位の設定内容(目標削減率(原単位ベース)を選択した場合のみ記入)

温室効果ガス排出量と密接な関係を持つ値	()
(温室効果ガス排出量と密接な関係を持つ値を複数設定した場合の設定方法)	

◎ 事業活動に係る温室効果ガス排出及び人工排熱の抑制並びに電気の需要の平準化対策

(1) 温室効果ガスの削減状況についての見解(計画の最終年度に目標が達成できなかった場合、その理由)

<p>高効率機器への更新・運用の見直し等の改善により、基準年度比8.4%の削減となりました。今後も計画的に高効率機器への更新を進め、エネルギー消費量の削減に努めてまいります。</p>

(2) 推進体制

<p>エネルギー基本方針に基づき、主に総務グループ及び生産技術部にて担当し、無駄を省く省エネ活動を従業員と共に進めます。また、毎月エネルギー消費分析会を継続的に行っています。</p>
